

原著

## 徒手医学セミナー初回受講生に対する アンケート調査(第2報)

上前 拓巳<sup>1)</sup>

諸言

第1報では次のコース受講に繋げるために関係する因子の明確化を目的としていたが、第2報は、第1報では取り上げられなかった、受講生が当講習会に求めている講義内容や、次のコースの受講意欲が高い受講生の割合の明確化を目的とし、主に愛知県にて行われた初回セミナーの受講生136名を対象にアンケート調査を実施した。受講生に対しアンケート用紙を配布し講習会終了後に回収し、各項目の意見については肯定的意見、否定的意見、無回答の3群に分類し、受講生の求める講習会内容の回答数の集計を行った。結果、評価・治療テクニックや臨床応用の仕方について受講生の半数以上が求めており、9割以上の受講生が次のコースの受講意欲が高い事が確認された。しかし実際の次のコース受講率とはかなり解離しており、その原因については不明である。その為、今後その原因についても究明していきたい。

キーワード：徒手医学 徒手医学セミナー アンケート調査

Abstract

The first report aimed at clarifying the factors involved in connecting to the next course, but the second report was not taken up in the first report, and the content of the lectures that students are asking for in this course. And, in order to clarify the percentage of students who are highly motivated to take the next course, a questionnaire survey was conducted mainly on 136 students in the first seminar held in Aichi Prefecture. We distribute questionnaire to the students and collect them after the class. The opinions of each item are classified into 3 groups of positive opinion, negative opinion, no reply, and the number of answers of the class contents of the class that the students seek. We have tabulated. As a result, more than half of the students asked for evaluation / treatment techniques and clinical application methods, and it was confirmed that over 90% of the students were highly motivated to take the next course. However, the rate of taking the next course in practice is quite disjointed, and the cause is unknown. Therefore, I would like to investigate the cause in the future.

Key words : Manual Medicine, Questionnaire Survey, Manual Medicine seminar

## 1.はじめに

徒手医学に関する内容を扱っている講習会の1つに「三学会合同標準徒手医学講習会」(以下、標準徒手医学講習会)が挙げられ、日本各地や海外で開催されており、2018年の時点で受講者は3400名を超えている。

第1報では、次のコース受講に繋げるために関係する因子の明確化を目的に実施している。次のコースへの受講意欲を高める為には、満足度や教材の質の向上が必要であり、理解度や満足度との間では強い相関関係がある為、これらの向上が必要である事が明らかとなった。また他にも講習会の質の向上が臨める意見や改善に繋がると思われた意見を得られ、割合として講習会の内容に関しては理解、満足できたとする受講生が多い事が伺えた<sup>1)</sup>。しかし、2017年度初回コースを受講した受講生の内、次のコースを受講した受講生は21%と、前年度の20%と大きな変化は見られなかった。

第1報では、今回の受講意欲の程度に関して Visual Analogue Scale(以下、VAS)のみでの評価のみであり、全体の平均値の算出は行えたが、実際にどれほどの人数が次のコースを受講したいと考えているのかが不明瞭であった。また、受講生が当講習会の講義内容について、どの内容を求めているのかについても、第1報では不十分であった。その為、第2報ではこれらの不足分を補うために、次のコースへの受講意欲のある受講者の具体的人数の特定化する為に受講意欲の有無を直接問う2択のうち1つを選ぶ設問や、受講生が当講習会にて求めている講義内容を回答する質問を加え、当アンケート調査を実施した。

## 2.対象

対象は、2018年1月から10月にかけて開催された初回コース受講者136名(1月浜松会場20名、1月名古屋会場23名、5月浜松会場5名、6月名古屋会場28名、8月名古屋会場23名、10月名古屋会場15名、10月浜松会場22名)とした。

## 3.方法

アンケート調査用紙は付表1に示した。アンケート調査には、次のコースへの受講意欲がどれほど高いかについて、VASを用いて数値化し、理由については任意回答で記入する形で行った。今回データ統計に関しては、平均値±標準偏差、最大値、最小値を算出した。

また次のコース以降の内容に関して求めていると思われる講義内容の8つの選択肢の中から3つ選ぶ選択式の設問や、次のコースへの受講意欲に関しては、受講意欲の有無を直接問う2択のうち1つを選ぶ質問を加えた。またこれらの選択式の設問に関しては各項目毎の回答の合計数を算出した。当研究の除外基準は、アンケートの回答において未回答の項目があるもの、設問の問いに対して適切に回答されていないもの、講習会中に提出されなかったものとした。

当アンケート調査は、標準徒手医学会の許可を頂き、受講生に対しては口頭で研究論文にし、関連する会議や学会の場で報告、発表することを口頭で説明し、了承を得て実施した。

## 4.結果

有効回答は137名のうち、100名(73%)の受講生から得ることが出来た。(内訳は1月

浜松 85%, 1月名古屋 78%, 5月浜松 60%, 6月名古屋 68%, 8月名古屋 70%, 10月名古屋 80%, 10月浜松 68%であった。)今回、聴取を行った項目の数値に関しては表 1、第 1 報の時に聴取を行った項目の数値は表 2 に記載した。また、今回のアンケート調査で得られた受講生の意見を付表 2~付表 3 に示した。

#### 1) 次回コースの受講意欲に関して

次回のコース受講意欲に関しては  $78.8 \pm 16.2\text{mm}$  であった(表 1)。前年度は  $73.2 \pm 18.2\text{mm}$  であり、前年度よりわずかに増加傾向であった(表 2)。また、今回のアンケート調査にて次のコース受講したいかどうかについて、93 名が「はい」と回答され、次のコース受講に対して意欲的である受講者が多い事が伺えた(表 3)。

自由回答のうち、肯定的意見は全体の 67.0%が確認できた。臨床応用や知識・技術に関する意見が割合として多く得られた。また他にも理解、興味に関する意見や入門講義や受けやすさ、認定資格、下肢講義に関する意見が得られた。

否定的意見及び要望としては全体の 6.0%が確認され、内容として会場や、日程、受講料、開催頻度に関する内容の意見が挙げられた。

また、無回答であったものは全体の 27.0%であった(表 3)。

#### 2) 講習会で求める内容に関して

講習会で求める内容については表 4 に記載した。今回のアンケート調査からは治療テクニックや評価テクニック、臨床への応用の仕方に対して半数以上の受講者が求め

ている事が確認できた。特に治療テクニックや評価テクニックに関しては 7 割以上の受講者が希望しており、実技に関する内容を求めている事が分かった。

#### 3) 講習会に対する要望・その他に関して

講習会の要望及びその他の意見については表 5 に纏めた。肯定的意見には、講義に関する意見が多く得られ、受講意欲や実技、人数、理解に纏わる内容が挙げられた。また否定的意見及び要望に関しては会場に関する内容が多く確認でき、臨床推論や教室、講義、更衣室に関する内容の意見が得られた。

表1 今年度各調査項目の平均値

(単位: mm)

	理解度	満足度	初回費用	次回費用	教材	意欲
M±SD	79.3±12.7	81.2±15.5	66.4±20.9	53.9±21.2	73.5±15.8	78.8±16.2
最大値	100	100	100	100	100	100
最小値	40	38	6	5	44	30

表2 前年度各調査項目の平均値

(単位: mm)

	理解度	満足度	初回費用	教材	コース意欲
M±SD	79.1±12.3	79.9±14.5	62.7±21.5	73.6±19.1	73.2±18.1
最大値	100	100	100	100	100
最小値	50	46	4	17	34

表3 受講意欲に関する意見

(単位: 人)

A.肯定的意見		B.否定的意見・要望	
回答数計 67(67.0%)		回答数計 6(6.0%)	
臨床応用	26	会場	2
知識・技術	21	日程	2
理解	6	受講料	1
興味	6	開催頻度	1
入門講義	4		
受け易い	2		
認定資格	1		
下肢講義	1		
無回答計 27(27.0%)			
受講意欲あり		93	
受講意欲なし		7	
n=100			

表5 講習会に対する要望・その他

(単位: 人)

A.肯定的意見		B.否定的意見・要望	
回答数計 10(10.0%)		回答数計 13(13.0%)	
講義	5	会場	8
受講意欲	2	臨床推論	2
実技	1	教室	1
人数	1	講義	1
理解度	1	更衣室	1
無回答計 77(77.0%)			

n=100

表4 受講生の求める講習会内容

項目	
a.機能解剖	44
b.エビデンスの提示	24
c.症例報告	8
d.評価テクニック	75
e.治療テクニック	86
f.疾患について	7
g.臨床への方法の仕方	56
h.その他	0

(単位: 人)

### 5.考察

今回のアンケート調査では、前回のアンケート多くの回答が得られた為より多くの意見を獲ることが出来た。次のコースの受

講意欲に関しては、78.8±15.8であり、次のコースに受講したいと回答された受講者が93名とかなり割合として高い事が確認された。第1報では、次のコースへの意欲には満足度と教材の中にて有意な相関があ

り、満足度と理解度の間では強い有意な相関がみられる事が明らかとなっている<sup>1)</sup>。今回のアンケート結果より、満足度のVAS平均値が、 $81.2 \pm 15.5\text{mm}$ 、教材が $73.5 \pm 15.8\text{mm}$ であった事から割合として満足している受講生が多い事や、教材が良かったとする受講生が多い事が伺えた。このことが、次のコース受講意欲を高めることに繋がったと考えた。

次のコースの受講意欲に対して肯定的意見は、臨床応用に関する意見や知識や技術に関する内容の意見が多く得られた。また、次のコース以降で期待する内容に於いても評価や治療のテクニック、臨床応用の方法が半数以上のセラピストが希望していた。これらの意見から、次のコースの講習会の内容において、受講者が講習会の内容を臨床の場面で応用できるような指導や、受講者の知識や技術の向上が図れるように理解度や満足度の向上をはかっていく事を踏まえる必要があり、さらなる教材や講習会の質の向上にもつながると考えた。

今回のアンケート調査では、9割以上の受講者が次のコースへの受講意欲があり、今回のアンケート調査での受講意欲のVASの平均値は $78.8 \pm 16.2\text{mm}$ で約8割と、やや高い傾向を示していたが、実際の次のコースへの移行率は前年度では21%であった。今回のVASの結果は、受講生全体の平均値を示している。次のコースへの受講意欲の有無は確認されたが、正確な次のコース受講への予測に繋がっていない事が伺える。VASの結果は全体の平均値では最大値が100mmと最高値を示していたものもあれば最小値30mmとかなり低い数値を示していたものもあり、今回のVASはそ

の全体の平均値を示している。全体の次のコース受講継続率向上を図る為には、次のコース受講意欲の低い者がさらに減り、VASにおいて平均値より更に高い数値がでるよう努めていく必要があると考えた。また今回のアンケート調査では、他の県でもコース開講して欲しい等会場に纏わる意見や開催頻度に纏わる改善を求める意見が確認された。次のコース受講率の向上には、受講しやすい会場の設定や開催頻度の増加も必要である事も考えられたが、今回のアンケート調査では具体的に調査が出来ていない状態である。カークパトリックの研修効果の測定レベルには、蹴講習会直後の反応を見るレベル1、テストなどで評価するレベル2、研修会後における行動変容を見るレベル3、研修による仕事の業績をみるレベル4が存在する。今回のアンケート調査はレベル1に該当し、レベル2以降の評価が出来ていない。具体的な原因の特定の為には、初回コース後に於いて内容が本当に十分理解できており臨床応用ができているか、また実際の臨床場面で成果を出すことが出来ているかについても聴取し、講習会の内容が実際の臨床の場面にて役立つと感じているかどうかにも調査していく必要があると考えた。今回のアンケート調査では、よって受講意欲の高い受講者の割合と実際の受講率の大きな差が見られた理由は、今回のアンケート調査では不十分である為、今後も追及していきたいと考える。

## 6.まとめ

第1報では次のコースへの受講意欲が高い受講生の割合や、受講者が求めている講義内容について聴取が行えていなかった

が、第2報では前回の不足を補う事が出来たと考える。第2報では、次のコースへの受講意欲が高い受講生が非常に多い事がわかり、受講生が求めている内容も評価、治療など実技の内容を求めている事が明らかとなった。しかし、実際の次のコースへの受講率と大きく差が見られており、これらの事に関して調査が不十分である。今後、その理由についても追及していきたい。

#### 参考文献

- 1)上前 拓巳：徒手医学セミナー初回受講者に対するアンケート調査.標準徒手医学会.2017;1:7-14.

付表1 アンケート調査用紙

三学会合同標準徒手医学講習会アンケート (中部会場) 入門コース (ver. 2018)

職種: PT・OT・その他( )

1. 経験年数 年目
2. あなたは、主に何期の患者様の治療をされていますか? 以下の選択肢に該当する項目に○を書き添えて下さい。(複数選択可)

【選択肢】  
A. 急性期 B. 回復期 C. 維持期

3. 本日の講義のわかりやすさはどうでしたか? 以下の線に、垂直な線を入れてください。



左端: 分かりにくい 右端: 分かりやすい。  
【理由】

4. 当講習会の満足度はどうでしたか? 以下の線に、垂直な線を入れてください。



左端: 不満である 右端: 満足している  
【理由】

5. 入門コースの講習会費を、どう感じましたか? 以下の線に、垂直な線を入れてください。



左端: 高く感じた 右端: 安く感じた

6. 初級・上級コースの講習会費を、どう感じますか? 以下の線に、垂直な線を入れてください。



左端: 高く感じる 右端: 安く感じる

7. 本日使用した教材のわかりやすさはどうでしたか? 以下の線に垂直な線を入れてください。



左端: 分かりにくい 右端: 分かりやすい  
【理由】

8. 今後、初級コースを受講していきたいと思えますか? 垂直な線を引き、以下の選択肢に○を付け、その理由の記入をお願いします。



左端: 受講したいと思わない  
右端: 積極的に受講したい

選択肢: ( はい ・ いいえ )  
【理由】

9. もし先生が、今後初級コース以降を受講するとした場合、初級コースにおいて、どういった内容を期待しますか? また、どういった内容があれば、初級コースを受講したいと思えますか? 以下の項目で、希望する内容を3つに○を付けてください。

a. 機能解剖 b. エビデンスの提示 c. 症例報告  
d. 評価テクニック e. 治療テクニック f. 疾患について g. 臨床への応用の仕方 h. その他

【その他: 何を希望するか、記入してください。】

10. その他、意見や要望はありますか? 自由に記載して下さい。

ご協力ありがとうございました!

付表2 受講生より得られた意見まとめ(理解度・満足度・教材)

理解度に関する意見 項目	満足度に関する意見 項目
<b>【肯定的意見 (37.0%)】</b>	<b>【肯定的意見 (28.0%)】</b>
実技も交えてくれて分かり易かった	臨床に活かせる内容ばかりでよかった
解剖の基礎から説明があり分かり易かった	丁寧で分かり易かったからよかった
基礎から教えてくれて分かり易かった	少人数制で質問しやすくて良かった
実技の時間もしっかりあってよかった	満足できました
説明が細かく分かり易かった	徒手療法の基礎を学べてよかった
体験しながら手の位置など細かくおしえてくれたのでよかった。	初心者でも大まかな内容理解できた
理論や実技のないようが分かり易かった	治療までの手順を改めて整理できた
避けていた頸部の事が理解できた	知識が色々整理できてよかった
触診の際イラストがあつて分かり易かった	座学、実技があり満足度高い
やる事が明確であった	分からない所がないか回って聞いてくれた
話のペースが頭に入ってきやすかった	説明が細かく分かり易い。
丁寧に教えてくれて分かりやすかった	実技でフィードバックしてくれてよかった
治療までの進め方が分かり易かった	模型使ったり先生が回ってくれたので良い
理論が分かり易かった	新しい技術を知ることが出来た
専門用語が少なく、分かりやすかった	復習になってよかった
分からない所は直接聞いたので良かった	<b>【否定的意見・要望(11.0%)】</b>
触診の仕方が分かり易かった	問診がしっかりとできる事や、問診から臨床推論をどうたてるのか、もっと詳しく聞きたい
気軽に質問できたから理解しやすかった	実技の時間がもう少し欲しかった
個別でも丁寧に教えて下さってよかった	下肢の治療体験してみたかった
分かり易かった	原因組織の特定方法をもっと学びたかった
解剖学から触診の流れが分かり易かった	臨床に繋がる説明がない
実技を体験されることで理解を深められた	基本的な事が少し多かった
<b>【否定的意見・要望(9.0%)】</b>	午後の授業の進みが早かった
頸部の部分が難しかった	すぐ臨床に使える知識・技術がよかった
実技のペースが速くてついていけなかった	<b>【無回答(61.0%)】</b>
実技で三次元的な理解が進まなかった	n=100
頸椎屈曲モビライゼーションが難しい	
知っている内容が多かった	<b>教材に関する意見</b>
少し説明が分かりにくいところがあった	<b>項目</b>
他インストラクターの説明が分かりにくい	<b>【肯定的意見(16.0%)】</b>
自分の知識不足で分かりにくいと感じた	図も余白もありコメントも書きやすかった
細かな説明が少なかった。	カラーで分かり易い
<b>【無回答(53.0%)】</b>	絵が入っており分かり易かった
n=100	図が多くて分かり易い。
	絵が見やすい
	口頭でも補足を加えて頂けたのが良かった
	情報量が少ないのでぱっと見で分かる。
	説明内容の補助として分かりやすかった
	写真など使っていて見やすかった
	臨床場面を想定した内容もあり良かった
	分かり易い
	触診から基本概念まで分かり易かった
	<b>【否定的意見・要望(7.0%)】</b>
	実技の際スライド大きくしてほしい
	ホワイトボードに大きく字を写してほしい
	写真で固定や動かす方向を示して欲しい
	書き込みできるよう余白スペースが欲しい
	治療前後の動画があれば分かり易い
	肘の骨の絵が分かりにくい
	入門で頸部モビライゼーションは難しい
	<b>【無回答(77.0%)】</b>
	n=100



付表3 受講生より得られた意見(受講意欲・その他)

受講意欲に関する意見 項目		その他受講生の意見に関して 項目	
<b>【肯定的意見 (67.0%)】</b>		<b>【回答有り(24.0%)】</b>	
臨床で活かせると感じたから参加したい	18	浜松でも色々なコース開催して欲しい	5
知識や技術の向上が見込めると思ったから	6	個別対応も分かり易くてよかった	2
徒手医学について興味あるから受けたい	4	九州でも開催して欲しい(九州出身なので)	1
基礎から説明があり分かり易かったから	3	更衣室が欲しい	1
他の部位も受講してみたい	3	静岡辺りでもセミナー開催して欲しい	1
良い治療を早く患者様に提供したいから	3	とても面白い内容の講習会でした	1
手技は身に着けたいから参加していく	2	少人数で実技が分かり易かったです。	1
徒手療法を習いたいから参加したい	2	分かり易く、徒手療法に興味持てました	1
もっと深く学びたいと思ったため	2	今後も受講していきたいと思います。	1
自由に受けたいものをえらべるから	2	三重県でもやってください	1
どんな疾患にも運動器が基盤になるから	2	新人の教育にとってもいい内容と思う。	1
わかりやすかったから	2	会場がもう少し広いと良かったです	1
入門コースで色々教えて頂けたため	2	評価から治療の流れを詳しく知りたい。	1
基礎から応用まで学べそうだから	1	少人数制がとてもよかった	1
新人にも分かり易かったから	1	直ぐに質問が出来て良かった	1
何かしら資格を取りたいと考えているから	1	指導者の言い回しで気になる所があった	1
復習や新しい知識取得ができると感じた為	1	予定が合えばぜひ参加したい	1
下肢を受講してみたい	1	土曜日が休めたらぜひ参加したい	1
評価治療が細かいところまで学べるため	1	痛みの訴えが出来ない人へのアプローチ方法	1
機能解剖も分かり易いから	1	を知りたいです。	
独学では大変だから	1		
臨床で使う部位だけでも受講してみたい	1	<b>【無回答(76.0%)】</b>	
技術が不十分であると感じる為	1		n=100
整形外科でリハビリを行っていく為	1		
内容に関して非常に共感できたため	1		
PTとして必要な事全て学べると思ったため	1		
入門では大まかにしかわからなかったから	1		
様々な徒手療法における基礎が知れるから	1		
引き出しを増やしたい	1		
知識や技術が未熟だから	1		
治療面について詳しく知りたいから	1		
<b>【否定的意見・意見(6.0%)】</b>			
受講はしてみたいが会場が遠いから悩む	2		
日にちや会場で受けるかを考える	1		
開催頻度が少ないから仕事上難しい	1		
受講料が高いから悩んでいる	1		
土曜日が参加が出来ないから悩む	1		
<b>【無回答(27.0%)】</b>			
	n=100		